

1 令和6年中の県内の火災発生状況

令和6年中（令和6年1月～12月）の県内の火災発生状況は、以下のとおりです。

- ・ 全出火件数は509件
- ・ 建物火災は322件、建物火災のうち住宅火災は195件
- ・ 火災による死者32人のうち、高齢者の死者は23人

区分/年別	令和6年		令和5年	過去10年平均 ^{※5}
	令和5年との比較	過去10年平均との比較		
全出火件数(件)	509	-103 (-16.8 %)	612	553
建物火災	322	-50 (-13.4 %)	372	369
住宅火災	195	-18 (-8.5 %)	213	214
林野火災	16	-3 (-15.8 %)	19	17
車両火災	48	-6 (-11.1 %)	54	63
船舶火災	0	-2 (皆減)	2	1
航空機火災	0	0 (-)	0	0
その他火災 ^{※1}	123	-42 (-25.5 %)	165	103
全死者数(人)	32	-3 (-8.6 %)	35	36
放火自殺等を除く ^{※2}	23	-10 (-30.3 %)	33	28
建物火災	22	-8 (-26.7 %)	30	25
住宅火災	16	-13 (-44.8 %)	29	23
放火自殺等	9	7 (350.0 %)	2	9
高齢者の死者数(人) ^{※3}	23	-3 (-11.5 %)	26	22
放火自殺等を除く	17	-8 (-32.0 %)	25	19
建物火災	16	-8 (-33.3 %)	24	18
住宅火災	13	-11 (-45.8 %)	24	17
放火自殺等	6	5 (500.0 %)	1	3
負傷者数(人)	99	-10 (-9.2 %)	117	112
損害額(百万円)	2,399	901 (60.1 %)	1,498	1,880
焼損棟数(棟)	545	-69 (-11.2 %)	614	636
焼損床面積(m ²)	34,788	4,597 (15.2 %)	30,191	35,362
出火率 ^{※4}	2.38	-0.45 (-)	2.83	2.45

※1 その他火災は庭や田畑、河川敷などで出火した火災

※2 放火自殺等：放火自殺者、放火自殺の巻添者及び放火殺人の犠牲者

※3 高齢者：65歳以上の人

※4 出火率：人口1万人当たりの出火件数

※5 過去10年平均は平成26年から令和5年までの平均

2 令和6年の火災の特徴

(1) 出火件数

ア 全出火、建物火災、住宅火災件数

前年比では、全出火は103件、建物火災は50件、住宅火災は18件それぞれ減少しました。

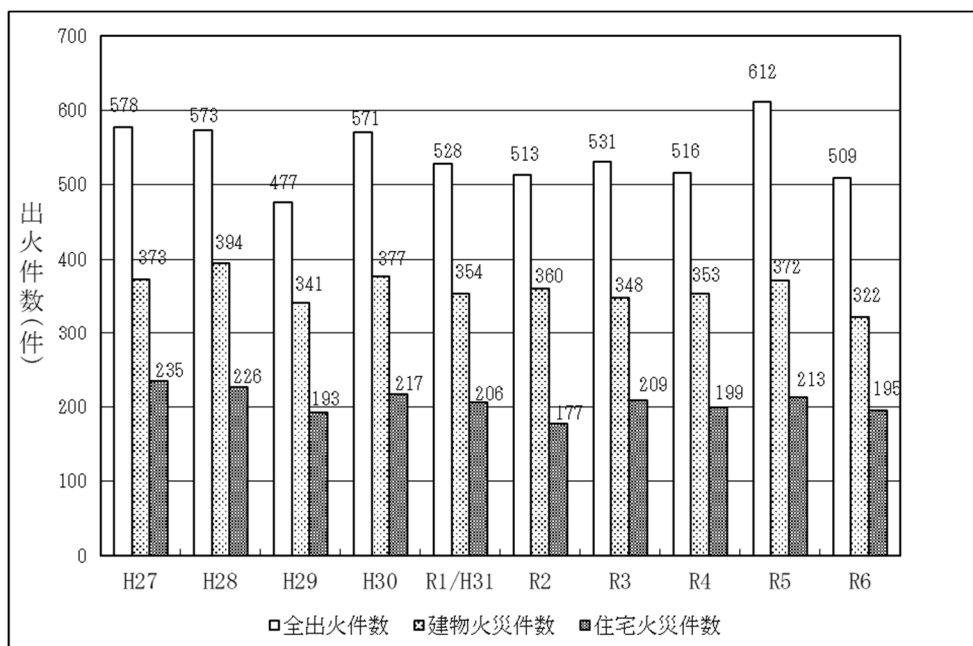


図1 出火件数の推移

イ 火災種別出火件数

火災種別出火件数では、建物火災が322件で最も多く、その内訳では住宅火災が195件で最も多くなりました。

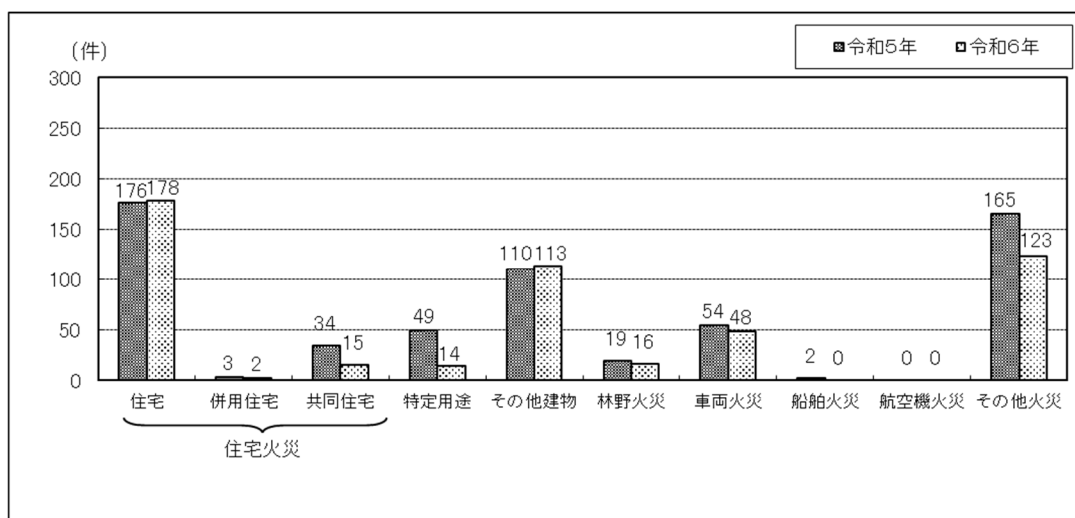


図2 火災種別出火件数

ウ 月別出火件数

令和6年は、4月が85件で最多となりました。

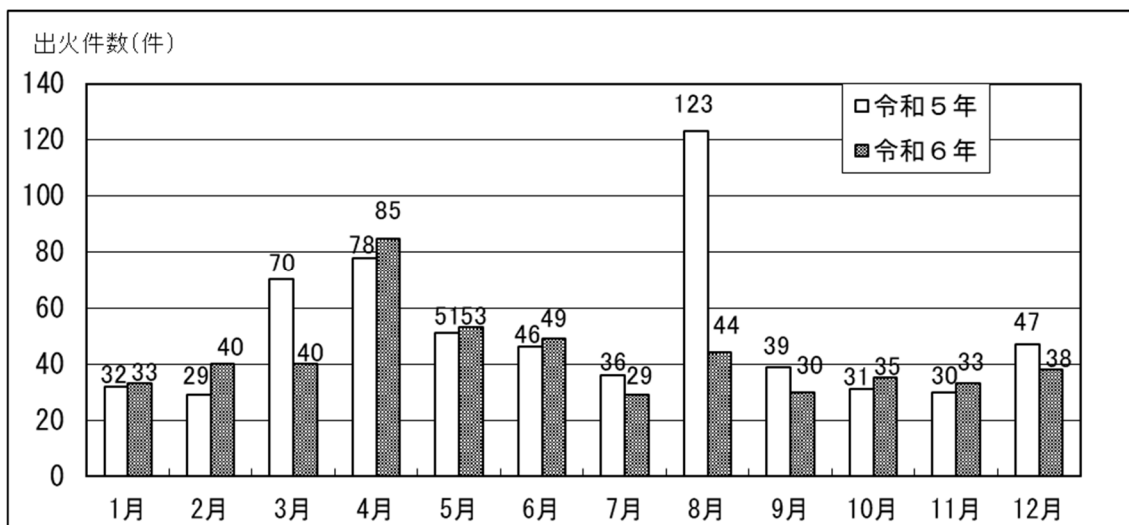


図3 月別出火件数

(2) 損害額

火災による損害額は23億9,911万円で、前年より9億123万円増加しました。また、火災1件当たりの損害額は471万円で、前年より226万円増加しました。

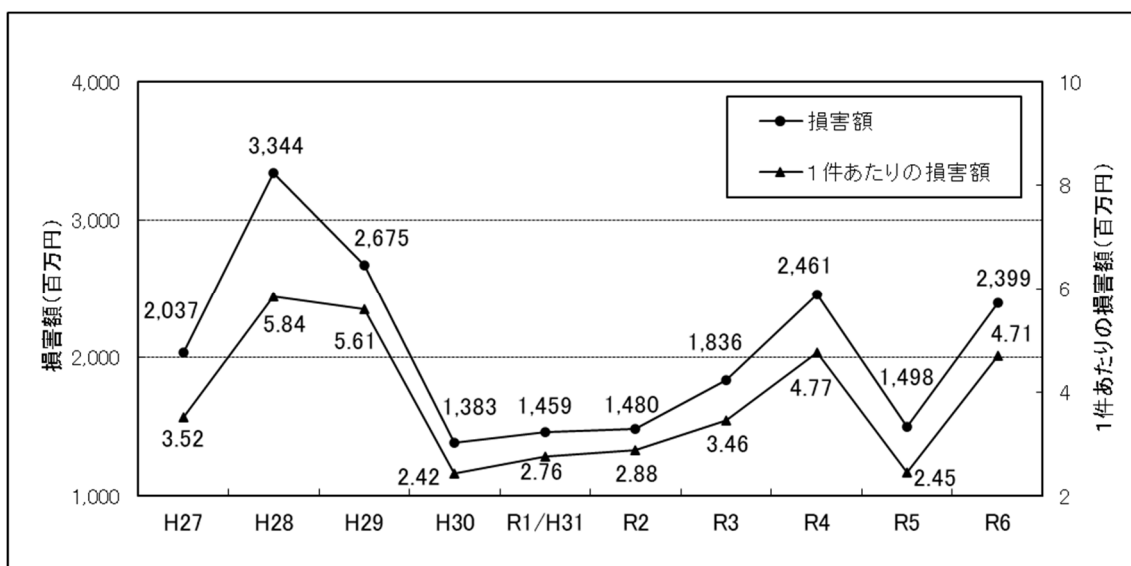


図4 損害額の推移

(3) 焼損棟数と焼損床面積

焼損棟数は545棟となり、前年より69棟減少しました。また、焼損床面積は34,788 m²となり、前年より4,597 m²増加しました。

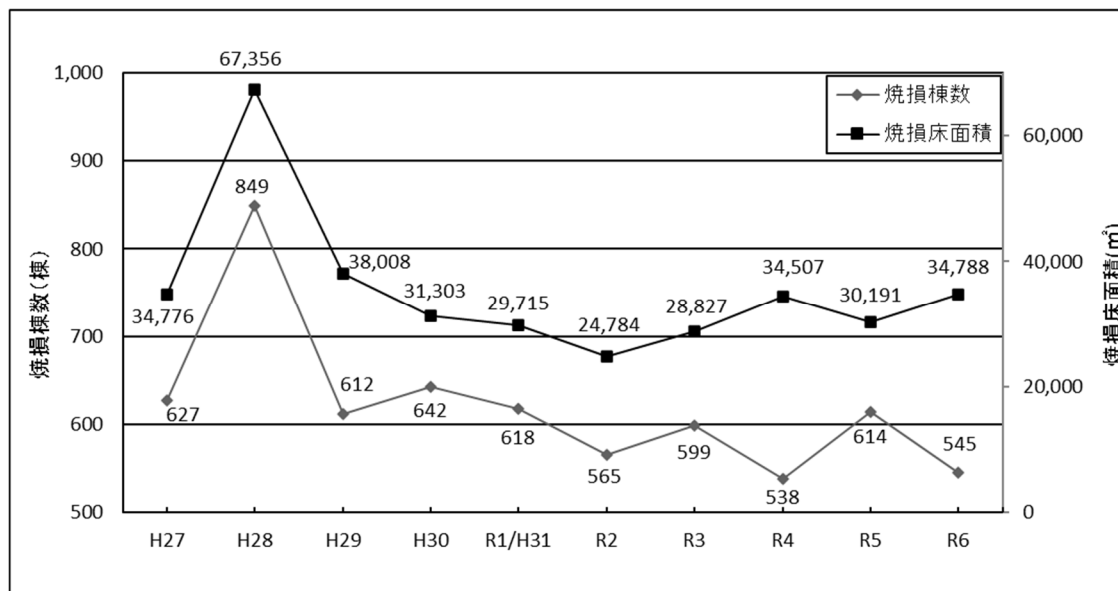


図5 焼損棟数と焼損床面積

(4) 出火原因

ア 県内の全火災における出火原因

全火災における出火原因は、「たき火」が最も多く41件、次いで「ストーブ」が36件、「たばこ」が35件となりました。また、「放火」は「放火の疑い」と合わせると31件となり、「不明・調査中」を除くと全体の7.1%を占めています。

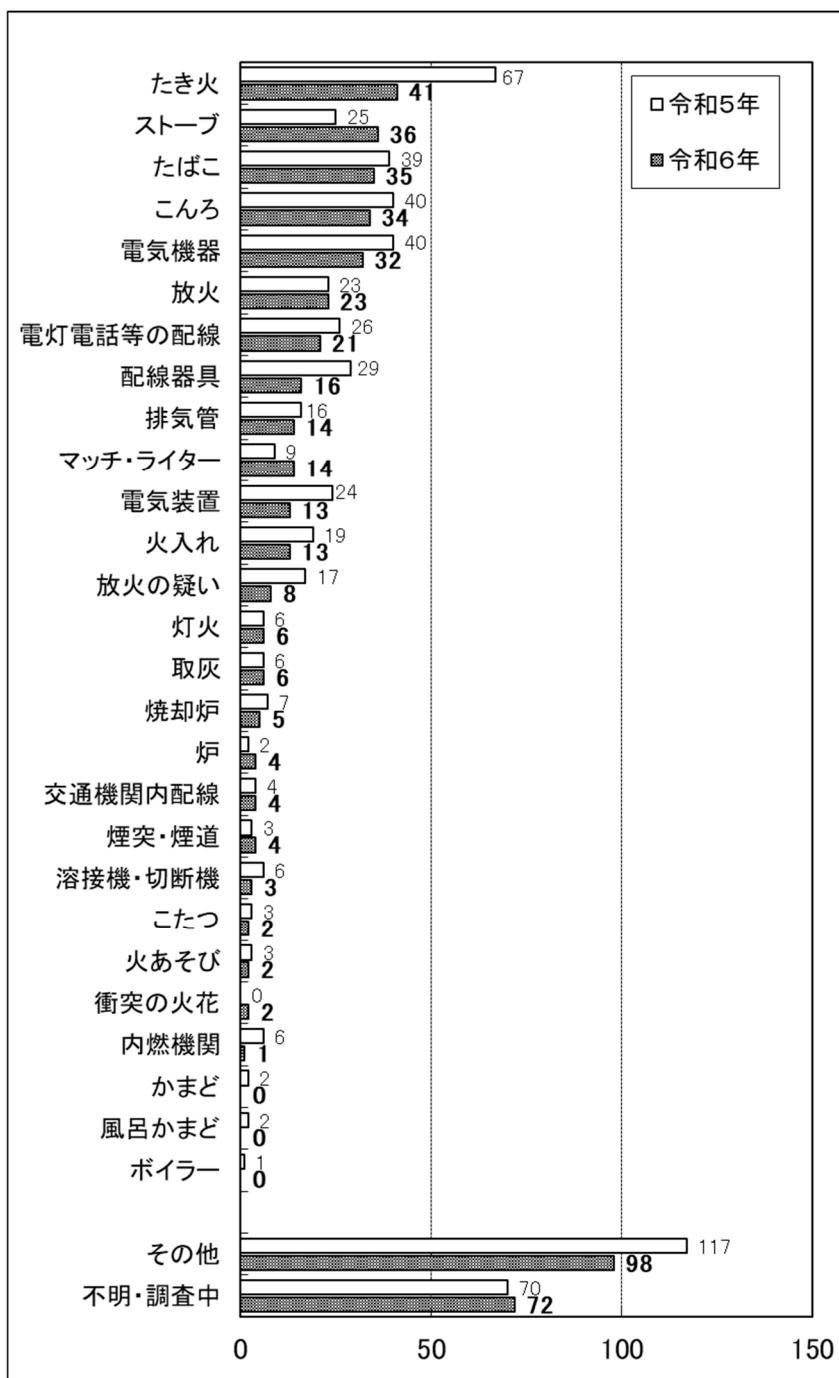


図6 県内の全火災における出火原因

イ 県内の住宅火災における出火原因

住宅火災における出火原因は、「ストーブ」が28件で最も多く、次いで「こんろ」が23件となりました。

近年の傾向では、ストーブ、こんろ、電気機器、たばこが上位を占めています。

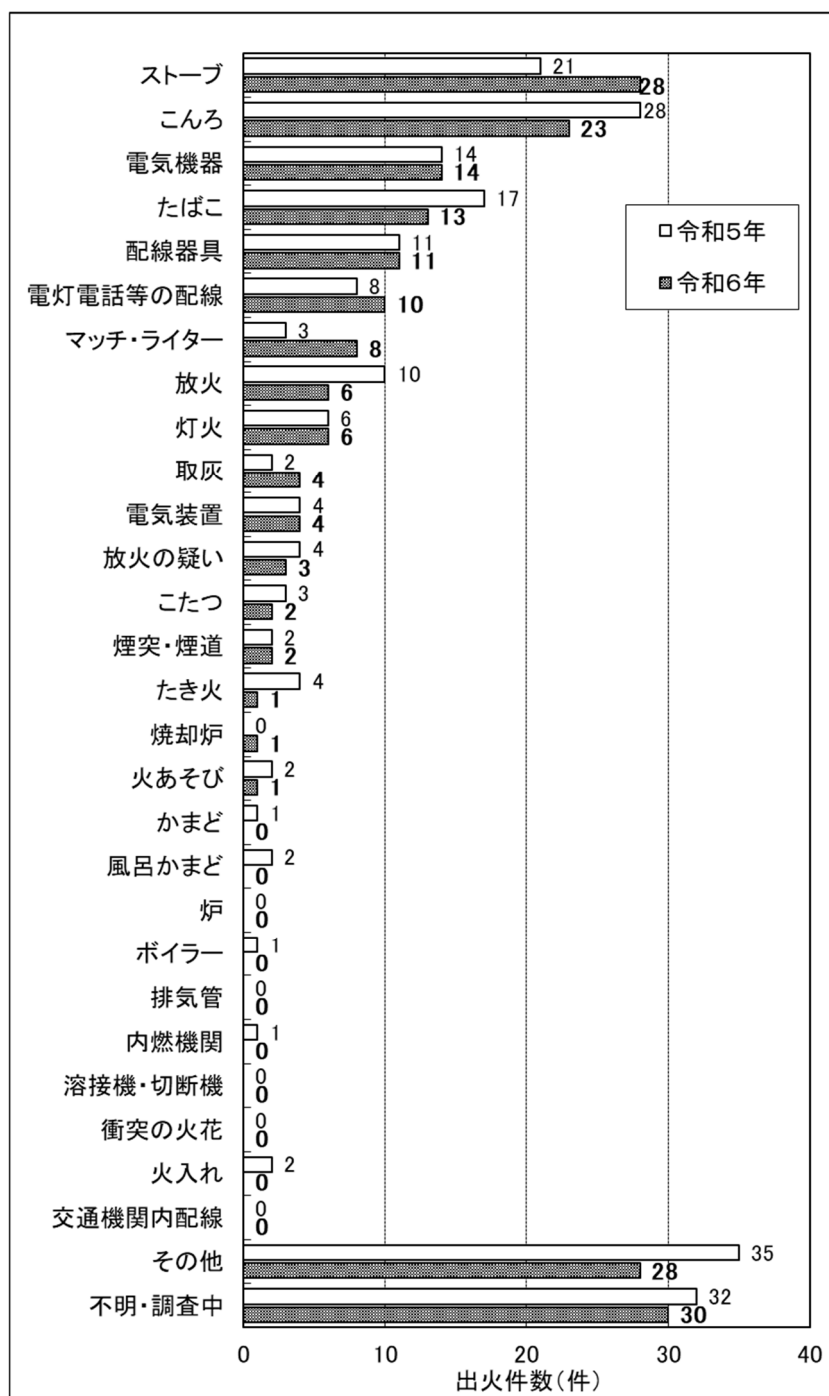


図7 県内の住宅火災における出火原因

(5) 死者数

ア 死者数の推移

令和6年中の火災による全死者数は32人で前年から3名減少し、そのうち放火自殺等を除く死者数は23人で、10人減少しました。

また、放火自殺等を除く住宅火災死者は16人で13人減少しました。

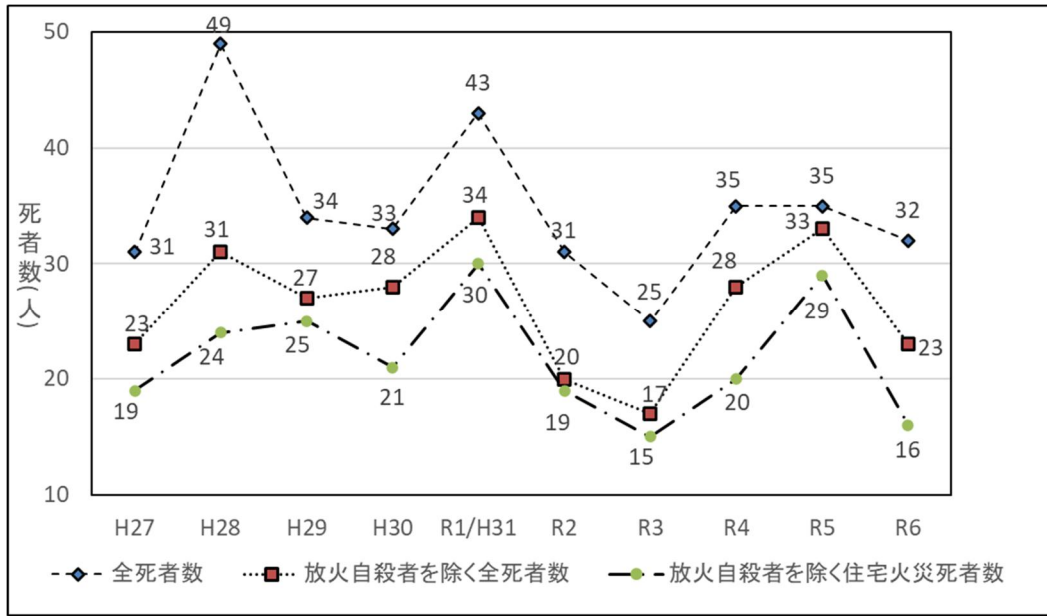


図8 死者数の推移

イ 火災種別死者数

火災種別の死者は、建物火災によるものが最も多くなりました。そのうち住宅火災による死者が18人で最も多く、前年に比べ11人減少しました。

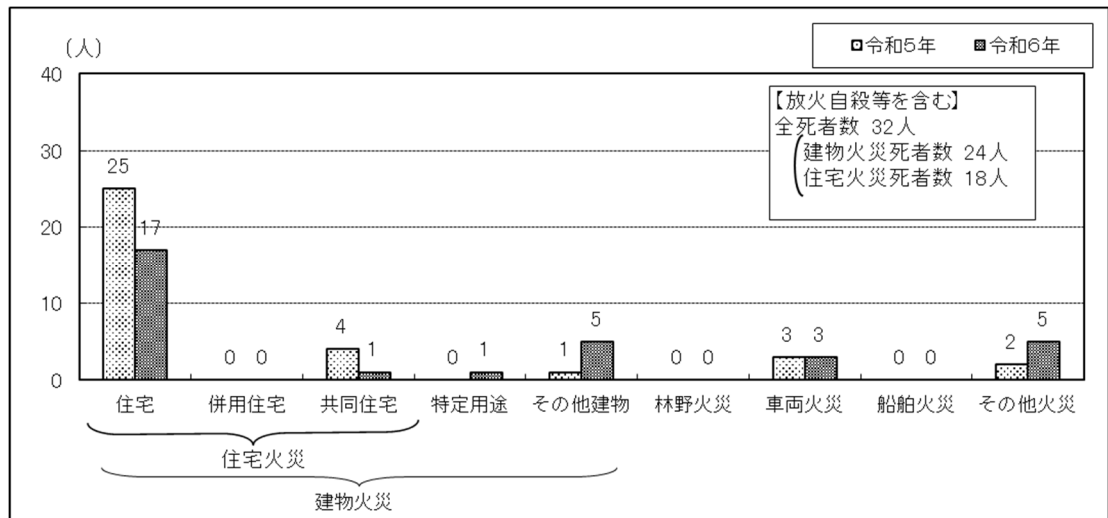


図9 火災種別死者数

オ 住宅火災による高齢者死者数

住宅火災による高齢者の死者数は、「ストーブ」が3人で最も多くなりました。

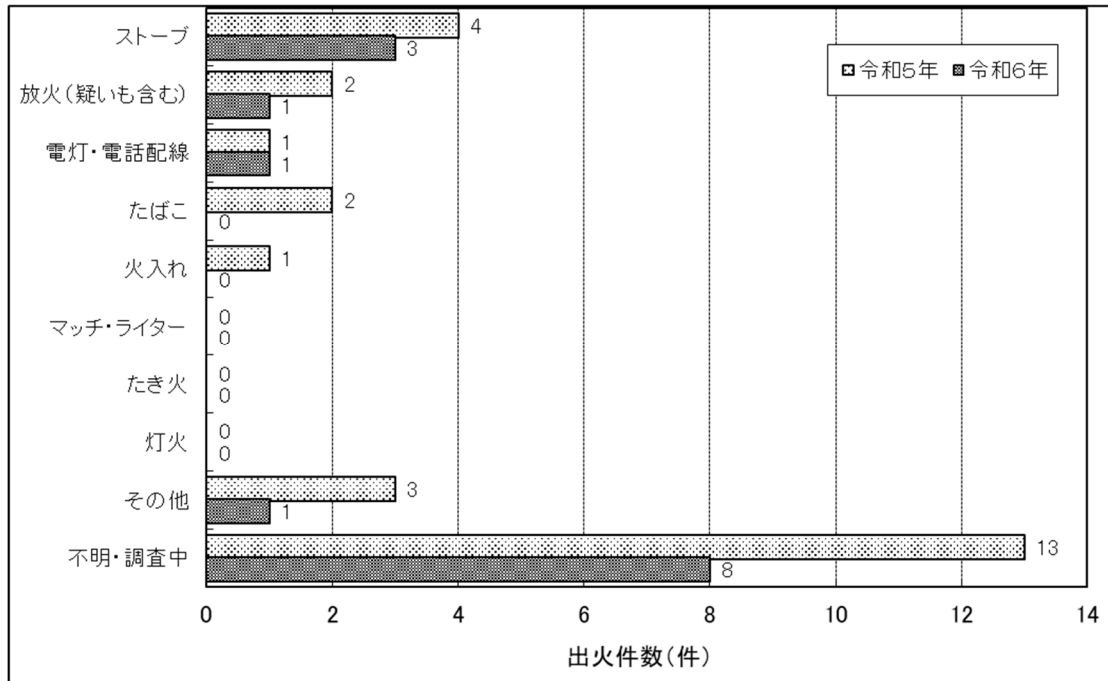


図 12 高齢者の出火原因別死者数

カ 死者が発生した経過

令和6年中の「死者の発生した経過」は、全年齢においても65歳以上の高齢者に絞りこんだ場合においても、「逃げ遅れ」が最も多くなりました。

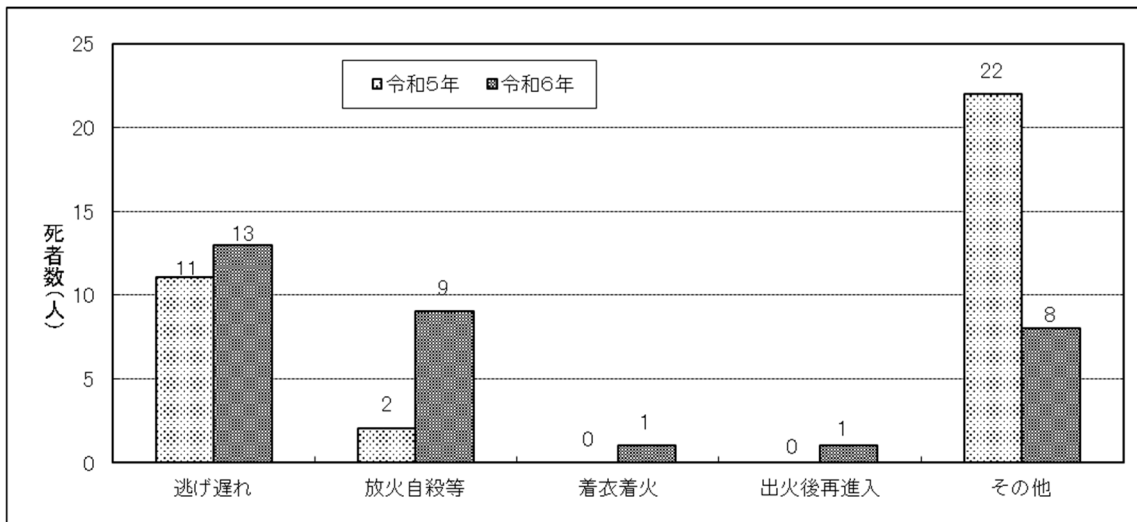


図 13 死者が発生した経過

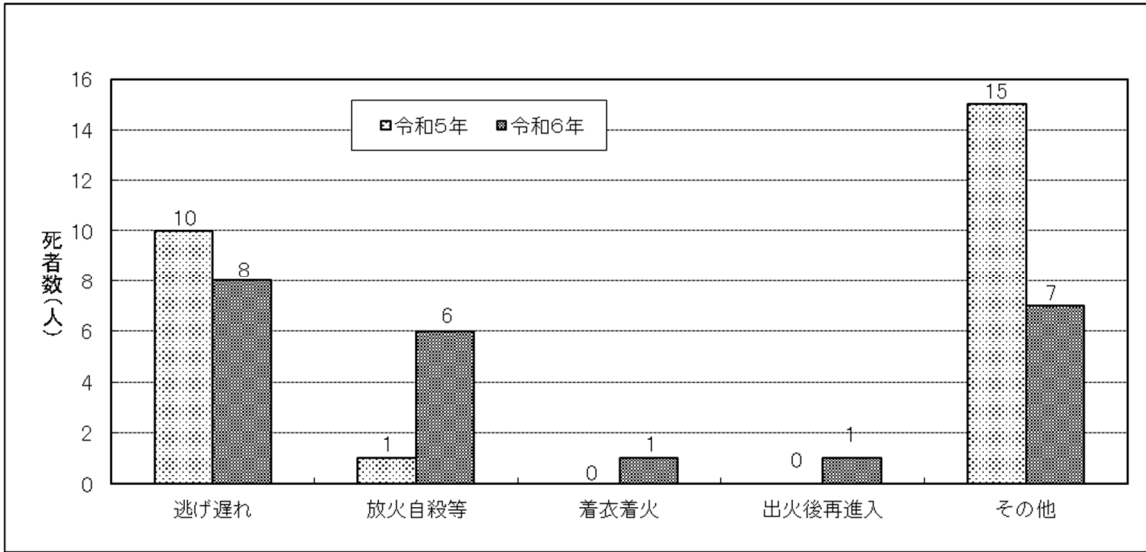


図 14 高齢者の死者が発生した経過